

日エグループのサステナビリティ推進体制

当社グループは、社会・環境課題への対応を含むサステナビリティ活動に対するガバナンス体制の強化を目的として、2023年6月にサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会は、長期ビジョンの実現に向けて、日工が掲げるマテリアリティ(重要課題)の解決に向けた戦略の策定・推進・モニタリングを担っています。

基本方針の詳細は、以下をご覧ください

- 日エグループ サステナビリティ基本方針 (<https://www.nikko-net.co.jp/sustainability/>)
- 日エグループ 人権基本方針 (<https://www.nikko-net.co.jp/sustainability/sdgs.html>)

ガバナンス体制

サステナビリティ委員会は、コンプライアンス・リスク管理委員会と連携しつつ、議論の集約と実行の迅速化を図る役割を担っており、以下の体制で運営されています。

- ◆ 委員長: 執行役員 経営企画部長
- ◆ 委員: 経営層4名
- ◆ 事務局: 経営企画部など関連部署から5名で構成
- ◆ 開催頻度: 原則として年4回

サステナビリティ戦略と目標・指標(KPI)

日エグループは、社会的課題に対する検討を通じて4つのマテリアリティを特定し、それぞれに対して具体的な目標とKPIを設定しました。そのうえで、長期的に目指す姿の実現に向け、以下の重点分野に取り組んでいます。

環境

- ◆ 製品ライフサイクル全体でのGHG排出量の削減
- ◆ 廃棄物抑制と資源循環の確立をめざす製品開発の推進
- ◆ 環境負荷低減に向けたマネジメント強化

マテリアリティの特定プロセス及びKPIの詳細はP37-38をご参照ください。

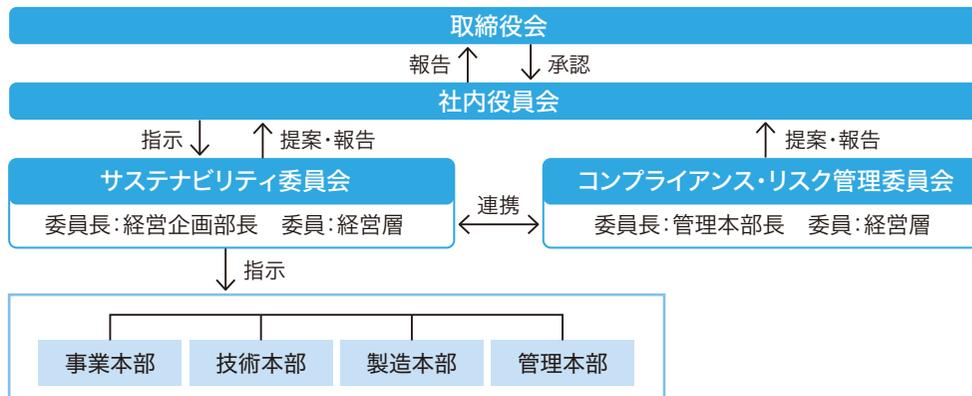
サステナビリティ委員会の役割

1. 長期ビジョンの実現に向けたマテリアリティの特定
2. マテリアリティに関連するリスク・機会の把握、目標・指標(KPI)設定と進捗管理の方向性明示
3. 長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画の素案策定
4. ステークホルダーへの価値提供に向けた体制整備
5. コンプライアンス・リスク管理委員会との連携

社会

- ◆ 社員の働きがい向上と女性活躍推進
- ◆ 多様性の尊重と人的資本の充実
- ◆ 取引先との連携を通じた持続可能なサプライチェーン構築(環境、人権、安全への対応)
- ◆ プラントの遠隔操作や自動運転の提供による省人化の実現
- ◆ 老朽化するインフラへの対応や相次ぐ自然災害からの早期復旧

サステナビリティ推進体制



同委員会の機能

- ◆ サステナビリティ基本方針の策定
- ◆ 人権方針の策定及び人権デュー・ディリジェンスの実施
- ◆ 腐敗防止(企業倫理)方針の策定
- ◆ 方針に基づく社内啓発活動の推進
- ◆ 環境方針(脱炭素、資源循環、水資源、生物多様性)の策定
- ◆ 調達ガイドラインを通じたサプライチェーンへの適用
- ◆ 人的資本強化(エンゲージメント、多様性、ライフサポート、安全衛生)
- ◆ ステークホルダーとの継続的対話の推進

リスクマネジメント

各マテリアリティに関連するリスクと機会を特定し、設定されたKPIに基づいて定期的なモニタリングを実施しています。関連部門との連携のもと、自社の強み・弱みを踏まえた対応策を講じ、リスクの最小化と機会の最大化を図ります。

また、事業活動における全般的なリスク管理については、コンプライアンス・リスク管理委員会を通じて、グループ全体での管理体制の強化と迅速な対応を推進しています。